

# 南あわじ市

第10号

平成19年5月1日発行

# 議会だより



△春まつり（八木）

## もくじ

第14回南あわじ市議会定例会……………	2	●	予算審査特別委員会審査報告……………	8～9
討論・発議……………	3～4	●	第13回南あわじ市議会臨時会……………	10
総務常任委員会審査報告……………	5	●	会派代表質問……………	11～13
文教厚生常任委員会審査報告……………	6	●	個人質問……………	14～17
産業建設常任委員会審査報告……………	7	●	市民の声……………	18～20

編集／南あわじ市議会広報広聴特別委員会

発行／南あわじ市議会 〒656-0472 南あわじ市市善光寺18-27 TEL.0799-43-5005 FAX.0799-43-5105

URL <http://www.city.minamiawaji.hyogo.jp> E-mail: [gikai@city.minamiawaji.hyogo.jp](mailto:gikai@city.minamiawaji.hyogo.jp)

# 第14回南あわじ市議会定例会

第十四回南あわじ市議会定例会は平成十九年三月一日から三月二十八日まで行われました。この議会では平成十九年度の南あわじ市一般会計予算をはじめ執行部提案の五十六議案、「療養病床の廃止・削減を中止」「リハビリ打ち切りの調査と改善」「全国一斉学力調査の慎重な対応を求める」など三つの請願、意見書及び、一般会計修正動議など議員提案の六発議などの審議を行い、修正動議を除くすべての議案を可決しました。

主だったものは次のとおりです。

## 条例関係

- ・児童館条例の一部改正  
これまで土曜日、原則閉館であったものを、原則閉館にするもの。
- ・行政組織の一部改正  
市長公室を独立させ、新しい部局を設置すること。併せて少子対策課の発足と国体推進室の廃止も同時に行う。

- ・副市長定数条例  
助役を廃止し、副市長とするもの（任期満了後収入役の廃止も法律で決められています。）

- ・特別職の給与の一部改正  
市長八、五％、副市長、収入役六、五％減額、教育長六、五％減額

- ・職員勤務時間、休暇条例の一部改正  
有給の休息時間を廃止し、休憩のみとし、昼休みが一時分から四十五分とする。（旅費規定、地域手当も見直され、減額になっている。）

## 一般会計予算

総額二百六十九億一千万円、前年度比六千二百万円の増額です。少子化対策に重点をおきつつ三つの重点施策と行政改革に向けて、市長は施政方針の中で「熟

慮、断行」を強調しました。

少子化対策の分野で、保育料については、三歳児以上の第二子以降無料化（〇一歳児は有料）、妊婦検診費用の援助、児童手当の増額、小学校三年までの子ども入院医療費の無料化（国の基準）、年六万円の在宅子育て支援、結婚相談、出会いの場所づくりなどの対策が盛り込まれています。また、観光のシンボルづくりのために、六千万円をかけてオニオンタワーの設置（五千万円は自治宝くじより補助）、防災監視カメラの設置なども盛り込まれています。また、地場産業振興のために、瓦屋根奨励金、牛乳工場建設支援、水産振興などにも予算が盛り

込まれる一方、すべての分野で経費削減がテーマになっていきますが、住民サービスの大幅な低下がおこらないよう十分な審議を行ってまいります。

## 特別会計予算

高齢化社会への対応が強く求められている中、国民健康保険、介護保険、老人保健などの医療分野では国保五億円増、介護保険一億五千万円の増となつていますが、老人保健では医療費の支出を抑えることによつて前年度比五千六百万円の減額となっています。

下水道事業では、松帆湊地域の下水処理場建設に大きく踏み出しますが、加入率の低迷が指摘され、水道事業では剰余金を料金値下げにとの意見もある中、広域合併へ向け、議論が進んでいます。

ケーブルテレビ事業では、市内全域へと進められ、機器の高度化が図られています。

## 請願

- ・療養病床の廃止・削減計画を中止するため政府への意見書提出を求める請願

- ・リハビリテーション打ち切りの調整と改善のため政府への意見書提出を求める請願
- ・全国一斉学力調査に慎重な対応を求める請願

それぞれについて慎重審議し、請願採択。関係機関へ意見書を送付しました。



## 行政組織条例の一部を改正する条例制定について

**反対** 蛭子 智彦 議員

この条例改正は、これまで総務部付けであった市長公室を総務部から独立させ、権限を強めるもの。行政のスリム化、効率化などが求められる今日、新たな部局を創設することは市民の理解が得られない。部長級職員を一名増員することは、人件費の不必要な増額につながる。

この間、条例に定められてきた総務部機能、事務分掌を軽視する執行体制を市長はとってきた。条例軽視の自らの姿勢を改めるべきで、条例を変更する必要性なし。するべきは、既存の組織と執行体制の中で、幹部職員の間を改善し、職員の間を改善し、職員の意欲と能力を最大限発揮できるように組織運営上の努力を、市長自らが行うことにある。

こうした理由から、条例改正には賛成できない。

## ケーブルテレビ整備工事請負契約の締結について

**反対** 蛭子 智彦 議員

今回の契約は積極的な面が多い。五ヶ所六台の防災監視カメラも評価できる。

しかし、監視カメラの設置場所は大きな問題。オニオンタワーには設置するのに松帆脇田、北方、湊地域には設置されない。幾多の台風災害、池や川の堤防決壊の被害を受け、苦痛と辛酸の歴史を経験してきた松帆、湊地域にこそ最も優先的に配置されるべき。防災監視カメラは万能ではないが、市の災害対策の重点を置くべき。三原川への監視カメラは県が設置するというが、不透明。しかも、オニオンタワーと呼ばれる建造物は、その緊急性、必要性の根本を今問われている。三原川流域に暮らす市民の不安の声、心配の毎日に市長は心を砕いてほしい。納得のいく対応と改善を強く求め、反対。

## 児童館条例の一部を改正する条例制定について

**反対** 吉田 良子 議員

児童館は、土曜日も開館し子どもたちが利用しています。改正では家庭で親子で過ごすこと、利用状況などから効率化のもとに土曜日を閉館するものですが、児童館は十八歳未満までのすべての児童を対象に、遊びを通じ、子どもたちは仲間とのさまざまな関係で社会性を身につけていくためを目的に設置しています。

親の働き方が、社会状況の変化や、経営を支えるために休みが限られているなど多様化し土曜日が休みという状況ではありません。利用者がいれば子どもたちが安心して過ごせる場所として開館すべきです。児童館を拠点に「母親クラブ」がありますが、合併後減少していますが、充実することこそ、子育て支援を応援することを指摘します。

## 一般会計予算

**反対** 吉田 良子 議員

新年度予算は、定率減税の廃止、均等割など市民負担が増えます。所得格差が広がっていることから、「格差是正」のための予算が必要で、ムダを見直す点では、不要不急のオニオンタワーの建設、一運動団体への助成の予算は削減すべきです。

市民負担として新たに七十歳以上の高齢者の対象者全員にタオルの記念品の廃止、胃がん、大腸がん検診などの自己負担を新たに徴収する、乳がん、子宮がん検診の二年に一回の改善がされない、母子検診の集約化など市民負担が増える内容になっている、障害者支援、奨学金制度、公営住宅の建設など市民要望に応える予算にはほど遠い内容になっている。

## 賛成 廣内 孝次 議員

本予算は、「熟慮断行の年」として少子対策、防災対策、職及び食づくりとしての産業・経済対策、行政改革の四つの柱により編成されており、財政の厳しい中「選択と集中」といった内容となっている。

少子対策では二子目以降の保育料の無料化をはじめ新しい課を設置し、その対策を大々的に展開することになっている。防災対策では、自主防災組織育成のほか、沼島にヘリポートの建設、県とタイアップしての津波防災の対策等を講じる内容になっており、産業経済対策では、乳製品をはじめ生産体制の強化と生産基盤の整備、瓦など観光産業の対策が実施されることになっている。行財政改革では、集中改革プランに基づき行政評価及び指定管理による民間活力導入などが反映され、財源の効率化に創意と工夫がなされており、評価できる予算編成内容である。

# 水道会計予算

反対 吉田 良子 議員

水道事業は「清浄、豊富、低廉」でおいしい水づくりが求められます。

公営企業法で「常に企業の経済性を発揮するとともに、その本来の目的である公共の福祉を増進するように運営しなければならぬ」とされ「経費の負担の原則」が規定されており、一般会計による負担も定められています。

今回水道会計の建設改良積立金の一億四千万円を一般会計に繰り入れるものですが、水道会計は本土導水の受入などで赤字予算になっており、配当として一般会計に繰入るのでなく県内でも高い水道料金の引き下げのために活用し市民生活を応援すべきです。

# 発議

・一般会計予算に対する修正動議

平成十九年度一般会計予算から六千万円を減額し、オニオンタワー建設工事を取りやめること。オニオンタワーの目的は観光振興寄与のシンボルだが、今すべき時ではない。するべきは遅れている福良、阿万、阿那賀などの避難路、避難経路の整備。防災施設の設定は福良地区に集中すべき。タワーは水害にあつた松帆、脇田、志知川、江尻、北方、高屋、湊などの集落密集地から遠く離れており、西路でも一番近い民家からこのタワーの電光掲示板の文字は読み取れない。この施設から発する情報活用之恩恵を被災地はほとんど受けることができない。財政に余裕があるなら被災が最も心配される地域へ集中的に投入するべき。市長の姿勢は公約実現ありきで市民不在、市民の命軽視、市長の自己

満足に過ぎないのではないか。市長の姿勢として本来あるべき住民の生命財産安全を一番大切にすること。議会のチェック機能を果たすために修正案を提出した。



オニオンタワー建設予定地  
(西淡三原IC前)

・政治倫理確立の調査特別委員会設置に関する決議について

(提出の理由)

市民から調査請求書が九件提出され、政治倫理審査会より調査請求書の受理において十分な審査を行い、調査請求権の濫用防止に努められるよう要望があり、議会議員政治倫理条例の問題点の検討と課題について調査研究を行う。

政治倫理確立の調査特別委員名簿

- ◎ 阿部 計一
- ◎ 廣内 孝次
- 武田 昌起
- 楠 和 廣
- 蛭 子 智彦
- 森 田 宏昭
- 蓮 池 洋美
- 登 里 伸一
- 印 部 久信
- 中 村 三千雄
- 川 上 命

◎ 委員長 ○ 副委員長

# 人事案件 (敬称略)

農業共済事業運営協議会委員の委嘱同意

- 中山 洋司 (中条広田)
  - 柏木 利夫 (松帆)
  - 裏川 晴明 (八木)
  - 山下 武幸 (神代)
  - 田中 幸男 (賀集)
  - 庄司 征一 (阿万)
- 以上六名に同意

教育委員会委員の任命同意  
塚本 圭右 (八木) に同意

人権擁護委員候補者の推薦  
久次米康次 (山添)  
倉本登代美 (阿万)  
以上二名を適任と認める

## 一般会計補正予算(第四号)

「要旨」 歳入歳出に一億六千九百十六万円を追加し、総額を二百七十一億七千四百万円とする。

### ○歳入について

**問** 固定資産税五千万円の減額、農地農業用施設災害復旧事業補助金二千六十六万三千円の減額、及び河川応急事業補助金一千六百九十二万五千円の減額理由は、

**答** 固定資産税については、家屋の評価替えの関係により見積誤りであった、災害復旧事業については、十八年災害が一部不採択になったのと、河川応急補助は入札減による。  
**問** 財産収入の利子及び配当金の利子について補正額が大きいき、当初から確定できるのでは。

**答** 公金運用会議で検討、本年度より、債権により運用を行ったため。

### ○歳出について

**問** 情報化推進費のGIS導入計画策定業務委託料が減額になっているが、今後の計画は。

**答** 統合型の地図情報作成のため、固定資産・地籍・下水道・道路台帳などを統合した

地図情報の作成を行う。減額については、委託業務の中の一部を職員で対応したため。

**問** 都市計画総務費の地形図作成業務委託料七千三百万円の追加はなぜ三月補正で行うのか。

**答** 平成二十年四月には市内全域を都市計画区域と指定をするため、合併補助金の関係で十八年・十九年度と分割要望していたが、国の指導により繰越許可で十八年度採択となったため。

**地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について**

「要旨」 地方自治法の一部が改正(副市長の設置、収入役及び吏員制度の廃止等)されることにより関係条例の一部を改正する。

**問** 収入役のポストの考え方及び県では出納長を廃止している、在職の必要性は。

**答** 任期中は在職していただき、公金の適正管理を行う。

**市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について**

「要旨」 人事院勧告に基づ

き三人目以降の子等の扶養手当月額を五千円から六千円に改正し、地域手当を十九年度は三%を一・五%に変更し、二十年度は〇%に変更する一部改正する。

**市職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について**

「要旨」 日当及び宿泊料を適正額に改め、特に神戸市、明石市、鳴門市の近隣三市への出張には日当を支給しないことなどを一部改正する。

**市土地開発基金条例の一部を改正する条例制定について**

「要旨」 土地開発基金条例制定に伴う財源とするため、基金の額十一億二千万円を七億円に変更する。

**市地域開発基金条例制定について**

「要旨」 企業団地に係る起債に関し、十年間の償還期間延長を行うため、県の指導により条例制定を行う。

**地域振興基金条例制定について**

「要旨」 市民の連携強化及び均衡ある地域振興を図る目的をもって、基金造成の特例

措置としての合併特例債を活用し積立て、原則その果実運用で事業実施を行うため条例制定を行う。

**問** 資金運用と果実について、安全第一の資金運用か、また運用益は。

**答** 第一には安全で、次に出来るだけ果実が多い国債などを運用。運用益について、五年で一・一〜一・四%、二年で〇・六〜〇・八%。

**辺地に係る公共的施設の総合的な整備計画の変更について(沼島辺地)**

「要旨」 ヘリポート整備において事業費の増額と期間が十八年度を十九年度に変更されたため。

**問** ヘリポートへ行くまでの道路について、大雨の時は道路が冠水するのは。

**答** 観音堂の方から避難路があり、それに対応する。

**ケーブルテレビ整備工事請負変更契約の締結について**

「要旨」 灘・沼島間の海底ケーブル敷設、伝送路設備等の工事費、二億二千九百五十一万七千四百円を追加し、総額を三十九億九千九百一十七

千四百円とする。



さんさんネット

**問** 監視カメラが五箇所まで台設置されオニオンタワーに二台設置されるが、川の水位がわかるのか。

**答** 水位計は別で監視カメラと機能が違い、状況把握を行うため。

**問** 二十三号台風で三原川が氾濫し被害が大きかった脇田に監視カメラを設置せず、オニオンタワーになぜ設置するのか。

**答** 三原川には県の水位計があり、県と市が情報を共有して対応をする。

## 国民健康保険特別会計補正予算(第四号)

**「要旨」** 保険事業勘定で三千三百七十万六千円を追加し、六十一億三千七百三十四万四千円とし、直営診療所勘定で四百八十三万四千円を減額し、一億二千六百七十九万六千円とする。

**問** 一般会計繰入金一千七百七十万円についてはルールに基づいているのか。

**答** 後期高齢者の関係が一千四百万円、その他一般が約四百万円でルールに基づいて行っている。

**問** 後期高齢者システム改修委託料一千七百一十万円は、どこに発注するのか。

**答** 国保会計で委託をしている日本電子計算と協議を行っている。

**問** 出産育児一時金四百二十万円の減額は、見込み違いであったのでは。

**答** 年度当初出生が多かったため、補正で増額していたが結果的には伸びなかったため。

## 老人保健特別会計補正予算(第二号)

**「要旨」** 七千九百九十一万四

千円を追加し、六十四億二千八百二十二万七千円とする。

**問** 医療費の伸びはどのくらいか。

**答** 平成十四年法律改正で五年間の経過処置がされ、平成十九年度からは一律七十五歳以上となる。対象者は減っているが、入院時の医療費が高いと思っている。

## 介護保険特別会計補正予算(第二号)

**「要旨」** 保険事業勘定で一千九百九十六万円を追加し、三十四億四千二百二十万五千円とし、介護サービス事業勘定で七百九十四万八千円を減額し、六億五百二十七万三千円とする。

**問** 食の自立支援事業委託料九百八十八万九千円減の理由は。

**答** 当初三千二百万円を週三回利用で二百六十人見込んでいたが、利用回数の減と利用人数の減による。

**問** 国は利用率を上げる方針。包括支援センターの重要性が増しているが、現在の体制で率を上げることができるのか。

**答** ケアプランの作成について、現在五名で行っているが、今後は民間への委託も視野に考えている。

て、現在五名で行っているが、今後は民間への委託も視野に考えている。

## 産業廃棄物最終処分事業特別会計補正予算(第二号)

**「要旨」** 三千九十九万三千円を追加し、二億五千八百三十三万七千円とする。

**問** 今後の処分能力と年数は。

**答** 十八年度末で四七・六九%であり、今後約十年間は大丈夫と思われる。

## 児童館条例の一部を改正する条例制定について

**「要旨」** 土曜日の利用状況が小中学生あわせて十人前後の利用のため、原則土曜日を休館とし、必要あるときは開館する。また、臨時休館日を定めることができるとする。

**問** 少人数でも児童のよりどころとして考える必要があるのでは。

**答** 土曜日においては、付近の子どものみで福良には公民館及び図書館もあり利用が可能。

**問** 新年度より児童館で学童保育が実施されるが、スベール

の確保についてはどうなっているのか。

**答** 人数に応じて一階及び二階で行う。

## 国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について

**「要旨」** 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の一部改正により、改正する。

## 市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例制定について

**「要旨」** 少子対策を一層推進するため、乳幼児医療費助成制度の対象を通院・入院ともに現行六歳までを九歳(小学三年生)までに拡充する。

## 入学祝金支給条例の一部を改正する条例制定について

**「要旨」** 学校教育法の一部を改正する法律が施行され、盲学校・聾学校・養護学校の区分を廃止し、障害種別を越えた特別支援学校に改める用語の改正をする。

## 公民館条例の一部を改正する条例制定について

**「要旨」** 潮美台地区公民館の完成に伴い条例の一部を改

正する。

**問** 潮美台コミュニティセンターの位置づけは。

**答** 潮美台一丁目・二丁目の公会堂として位置づけ公民館と併用して使用する。

**問** 公民館の人員及び運営には。

**答** コミュニティーセンターには配置しないが、公民館には館長を置き、三原・西淡などと同様に運営を行う。



児童館(福良)

# 産業建設常任委員会審査報告

**公共下水道事業特別会計補正予算(第一号)**

【要旨】 一億三百三十三万七千円を追加し、三十六億八千二百三十八万円とする。

**問** 加入分担金及び加入負担金の滞納については把握をしているのか。

**答** 約一千八百万円あまりある。

合併前から引継いでいるものもあり、職員が徴収に出て行き努力している、滞納金額は徐々に減少している。

**問** 処理場用地購入費七千二百七十八万八千円の増額理由は。

**答** 十二月議決分の松帆・湊処理区用地購入費の追加で、十八年度当初補助金ベースで全額計上していなかった、一月に内示の変更があり今回補正計上している、補正分は可決後契約を行う。

**問** 集合処理区と合併処理区は、現在どのようにして決めているのか。

**答** 旧町時代はバラバラであったが、現在百メートルとすることを決めており、原則的に守って行っている、地区の事前説明会等で集合区域と合併区域の説明を行いご理解

を得て行っている。

**農業集落排水事業特別会計補正予算(第二号)**

【要旨】 二百六十四万二千円を減額し、三億六千二百七十七円とする。

**問** 加入分担金二百二十七万五千円の減額理由は。

**答** 掃守の宅地開発の部分を見込んでいたが開発が遅れたため。

**漁業集落排水事業特別会計補正予算(第二号)**

【要旨】 一千七百一十七万七千円を追加し、十一億七千二百五十五円とする。

**問** 市債が一千六百四十万円の増となっているが、当初の計画どおり行かなかったのか。

**答** 管路工事で、国庫補助事業と市単独事業があり、市単独事業が増加したため。

**市土地開発事業特別会計補正予算(第一号)**

【要旨】 企業団地開発事業勘定で九億三千二百万円を減額し、六億二千三十六万四千円とするもの、及び住宅団地

開発事業勘定で二千二百八十五万九千円を追加し、六千五百二十四万八千円とする。

**問** 借入金延長の期間及び金利は。

**答** 県との協議により新たに借換えせず、十年間の延長を行う。売却できれば早く償還する。延長による金利については、十八年度で八百万円あまり。

**バイオマス活用フロンティア整備事業設備設置工事請負契約の締結について**

【要旨】 玉ねぎ残さ処理施設二機設置工事費、一億六千四百八十五万円の契約を行う。

**問** 使用料は条例で1kg当たり十五円となっているが、運営ができるのか。

**答** 現在約二十五円程度かかっている。処理できる絶対量が集まってきていないのと材料が均一でないのが要因。

**問** 不足分の負担はどこがするのか、また長く続けられないのでは。

**答** 商協で負担していただく能力一杯稼働すれば十五円と試算されている。

**市道路線の認定について**

【要旨】 福良甲地区、賀集福井地区で認定する。

**問** 賀集二〇三号は土地開発によるものと思うが、行き止まりとなっている。認定ができるのか。

**答** 幅員が六m以上あるのと車の回転が可能であるので認定を行う、居住者の負担軽減も考えている。

**問** 市道路線の認定基準は。

**答** 国道・県道・市道に連絡網があり、幅員が四m以上あること。特に生活道路として必要な場合は例外もある。また、新たに開発される箇所については、業者と協議を行うが底地については寄付又は買収を行う。

**問** 福良二四一号线、四mの幅員が確保されているか。

**答** 将来幅員五mの改良を考えている。

**農業共済事業に係る農作物共済無事戻金の支払いについて**

**問** 無事戻し金が一戸あたり五百円位なので、損害防止事業に振り返ることはできないか。

**答** 制度上無理である。

**農業共済事業に係る事務費の賦課総額及び賦課単価について**

【要旨】 共済事業に係る事務費等を加入者で負担する。

**問** 賦課単価は変更できるのか。

**答** 現在の賦課単価は条例上水稲では千円に対して五円であり、条例改正を行えば変更が出来る。

## 要望

三原酪農と洲本酪農が合併し洲本市と家畜共済賦課単価が異なっていることは不自然なので、出来ることであれば統一をお願いしたい。



瓦人形で大相撲

## 一般会計

### 歳入

**問** 「三位一体改革」で、定率減税の廃止・税源移譲などによる地方交付税の影響は。

**答** 市民税が増額になる分、交付税は減額となる。

**問** 定率減税の廃止に伴う、市民の負担は。

**答** 市民税で約八千四百万円の増額となる。

**問** 保育料第二子無料化による予算額への影響は。

**答** 昨年より約一億二千万円を拡充している。

**問** 第二子無料化において、給食費、延長保育・一時保育利用料は。

**答** 全て有料となる。

**問** 放課後児童健全育成事業利用料、九百七十八万円の内訳は。

**答** 学童保育事業で、十九年度二箇所増設し、計七箇所の利用料を計上している。

**問** 税の滞納者に対する対策は。

**答** 十八年四月より、嘱託職員でなく正規職員を増員し、催告書の発行、夜間及び休日徴収も行っている。また、財産を調査し、差し押さえも行う。

**問** 町ぐるみ検診の個人負担金の増額理由は。

**答** 受診者の増加はありがたいことだが、財政厳しい中、公費負担が大きく、十九年度より、がん検診において一部個人負担を小額だが徴収をさせていただきとした。

### 歳出

**問** 監査委員からの補助金に対する定期監査報告書で、要綱・要領・基準等明確に示した書面がないなど、改善・検討の必要性など指摘されているが。

**答** 謙虚に受け止め、実施していく。

**問** オニオンタワー建設の目的は、また、自治宝くじの助成制度は他の事業に優先すべきでは。

**答** 目的は、平常時に、観光・イベント・道路情報などを掲示、非常時に、気象情報・避難勧告などを発信する。南海・東南海地震を想定すると緊急性のあるものと考えている。

**問** ゴミ収集委託、契約方法は。

**答** 旧西淡は民間委託、その他旧三町については、一般競争入札ではなく、提案書と見積書による総合提案方式により決定した。

**問** 新規事業、農地・水・環境保全対策推進事業においては、バイオエネルギー

を活用した取り組みは考えていないのか。

**答** 農業集落の環境維持保全が目的で、バイオまで考えていないが、地元と調整を図り、要望があれば検討したい。

**問** 酪農経営に対する補助金が一部廃止されている。これからの酪農振興に対する取り組みは。

**答** 牛乳の新工場建設が一番大きい事業であり、市としても出来るだけの支援を考えている。

**問** 土木関係での職員研修は、また、県から技術職員の派遣は考えていないのか。

**答** 十八年度、洲本土木事務所に一名派遣している。土木関係では、県よりの派遣は予定していない。市の職員数を減少しなければならぬが、できるだけ研修には行かせたい。

**問** 消防団員以外も、公務災害補償共済の対象になるのか。

**答** 人口に応じて掛金をしており、消火・水防活動については、公務災害の対象になる。

**問** 学校給食の位置づけは、また、給食センターの民間委託は考えているか。

**答** 給食も教育活動の一環。職員数を削減していく中で、直営で運営できるのか、民間委託も視野に入れ、検討していく必要がある。

**問** 臨時職員は何名か、また、採用・契約規定は。

**答** 三月一日現在、市全体で三百三十名、うち教育費



淡路島 酪農



# 予算審査特別委員会審査報告

関係で百二十名。原則公募により採用。契約は六ヶ月ですが、職種により更新する場合があります。

**問** 特殊建築物定期調査委託料の業者選定及び発注方法は。

**答** 一級及び二級建築士で特殊建物調査資格があり、県に登録している五事務所において、複数の建物を一括して競争見積により、決定している。

**問** まちづくりの核となる、公民館としての位置づけを考えると、職員の配置も考慮が必要では。

**答** 住民サービスのあり方が重要であり、今後、庁舎等公共施設検討委員会でも協議されると思われる。

## 国民健康保険特別会計

**問** 国保税の滞納状況及び滞納者の所得階層は。

**答** 十七年度決算で、徴収率は。現年・過年合計で八

二・九%、約三億七千万円の滞納額。所得階層は、年額二百万円以下が九〇%以上を占めている。

**問** 滞納者で資格証明書による医療費負担十割の支払いが大変である。

**答** 納税相談は、十分行っている。

## 介護保険特別会計

**問** 包括支援センターの今後の取り組みは。

**答** 健康教室・機能訓練等、引き続き実施し、地域支援事業については、予算で人件費を計上し、これまで以上に充実をさせる。

## 公共下水道事業特別会計

**問** 加入率の目標数値と財政計画は。

**答** 加入率は全体で四五・二%、今回、中期計画にお

いて整備及び加入の進捗を見極め、計画の見直しを行う。

## ケーブルテレビ事業特別会計

**問** 加入率は。

**答** 既設の西淡・三原地域が八九%、新規の緑・南淡地域で現在七九・三%だが、加入促進期間中なので徐々に増加している。

## 水道事業会計

**問** 一般会計への繰出金、一億四千万円について。

**答** 旧四町時代から、出賃債の借り入れが八億四千万円、うち、約二分の一の交付税算入があるが、残りの四億二千万円が一般財源である。そして、まだ借入金残高が七億三千万円あり、地方公営企業法第十八条第二項に基づき、水道会計に支障のない範囲で今回計上している。

## 国民宿舍事業会計

**問** 陸の港西淡の、その後の駐車場対策は。

**答** 昨年四月に制定した条例による不法駐車車両の撤去、また、区画線の引きなおしなどを検討している。



陸の港西淡

### 《委員名簿》

- ◎ 森田宏昭  
 ◎ 武田昌起  
 ○ 長船吉博  
 ○ 蛭子智彦  
 ○ 吉田良子  
 ○ 出田裕重  
 ○ 蓮池洋美  
 ○ 島田貞洋  
 ○ 登里伸一  
 ○ 廣内孝次  
 ○ 原口育大  
 ○ 福原美千代  
 ○ 市川一馬  
 ○ 森上祐治  
 ○ 阿部計一  
 ○ 中村三千雄  
 ○ 川上三命  
 ○ 眞野正治
- ◎ 委員長 ○ 副委員長

第十三回南あわじ市議会臨時会は一月九日から二月五日の会期で開催され、「公の施設の指定管理者の指定について」の議案十一件が上程されました。本会議での質疑を経て、所管の各委員会へ審査を付託し、すべて原案どおり可決されました。今回議案提出された施設及び決定された指定管理者は別表のとおりです。

施設名	指定管理者	指定期間
湊研修指導施設	湊里自治会	9年
知的障害者通所授産施設「ウインズ」	社会福祉法人淡路島福祉会	5年
精神障害者小規模通所授産施設「きらら」		
特別養護老人ホーム「どんぐりの里」	社会福祉法人みかり会	3年
西淡デイサービスセンター		
西淡在宅介護支援センター		
リフレッシュ交流ハウス「ゆーぷる」	ア ク ア プ ロ (株)	1年
健康増進施設「サンライズ淡路」	(財)南あわじ市健康福祉協会	4年
淡路ファームパーク イングランドの丘	南淡路農業公園(株)	4年
足湯施設「うずのゆ」	南あわじ市観光協会	3年
灘黒岩水仙郷	灘黒岩自治会	3年
丸山海釣り公園	丸山漁業協同組合	3年
生産物直売所「魚彩館」		
丸山活性化センター		
伊弉漁港海岸環境施設「うずしお村」	阿那賀漁業協同組合	3年
浮体式多目的公園「メガフロート」	福良漁業協同組合	3年

## 「指定管理者制度」とは？

多様化、高度化する住民ニーズに効率的で効果的に対応するため、自治体の施設管理運営に民間活力を導入して、より柔軟で質の高い住民サービスの提供と経費の節減等を図ることを目的としています。

指定管理者の選定は原則公募ですが、地域密着型の

施設や高度な専門的な技術、ノウハウ等が必要な施設については「指定管理者候補者選定委員会」で検討した上、公募によらず、市が出資している法人または公共団体、もしくは公共的団体を候補者として選定できることになっています。

伊弉「うずしお村」



「サンライズ淡路」





新政クラブ

中村三千雄 議員

**問** 新政クラブの政治信条、基本理念を冒頭申し上げます。共存共栄と相互扶助の精神を原点として、市民の要望を的確につかみ反対の為の反対でなく是非々の立場で十分協議をつくし、市民の信頼に応え、市民が主役の政治課題を解決していく為の会派であります。

**問** 合併して三年を迎え、市長は現状の時代背景の中で、市政をどの様に取り組むのか聞きたい。

**答** 納得度を上げ、やがて満足度をあげていくために、説明責任を重んじ、私を含め職員一人ひとり真剣に考えていかなければならない時代であると考えております。

**問** 公僕である職員の資質が市の将来を左右すると言われますが、職員の意識改革と活性化について聞きたい。

**答** 市政に携わる職員の連携が大事であると十分感じています。その為には執行部共々、研さんを重ね、人対人の信頼を深め活性化を進めたい。又、新任職員についても初任教育の徹底を図っていき

い。

**問** 国の三位一体改革や、市の行財政改革の推進のうねりが大きい中、市の独自性をアピールし、国の施策を先取りし、市の活性化に取り組みべきであると思いますが、その考えを聞きたい。

**答** 国も地域格差解消を打ち出しており、可能な限り、市の現況を訴え理解を求め強力に働きかけをしていきたい。

**問** 誇れる地方自治は、市民の共有する課題を解決していく事であり、施政方針で強力なリーダーシップで臨みたいと表明しているが、その決意は。

**答** 市政代理人、施策代理人として市政運営を推進することが改革できるリーダーでありたいとその決意を持っております。

**問** 信頼でき、責任をもった市政運営を強く望みます。



至誠クラブ

森田 宏昭 議員

至誠クラブは去る三月四日、公開研修会を開催した。議会活動を広く市民に知って頂くことは極めて重要であり、情報公開をしつかりと行い、市民と共に考え行動していくことを信条として今後も活動をしていきたいと考えている。

**問** 改革の進捗スピードに満足しているか。大多数の市民は合併のメリットのみを要求する、市当局は市の現状をもっと市民に知らしめ、理解を得るよう努力すべきであり、基本は市民との対話で、執行部の目線の高さを如何に市民の目線に合わせるか。市長の認識は。

**答** 改革の進捗スピードには満足していない。これからは自治体の倒産もあることを念頭に先頭に立って取り組み、市民の声を聞き施策に取り入れていく。十九年度は小学校区単位で行政懇談会を開催する。

**問** 選択と集中を念頭に「緊急性・必要性を総合的に勘案した予算」とのことであるが、保育料第二子無料化拡充は財政難の状況下で問題はないか、オニオンタワーは緊急に必要なか。

**答** 保育料第二子無料化拡充は義務教育終了前の兄弟姉妹がいる三歳から小学校入学までの児童を

対象にし、効果が発揮できるまでしっかりと継続する。オニオンタワーは市のシンボルとして、観光情報や災害情報の伝達手段である。

**問** 三世代同居優遇策で介護や独居老人問題の軽減、子育て家族への応援が期待できると考えるが。

**答** 新たに設置する少子対策課で検討したい。

**問** 通学路の安全対策は。

**答** 交通安全対策や防犯灯設置など、関係機関と連携しながら課題解決に努力する。

**問** 入札適正化連絡会議は、公共工事における入札適正化支援方をとりまとめた、今後の市の入札に関する考え方は。

**答** 一般競争入札の導入については市内業者の育成なども踏まえながら、検討していきたい。

**問** 連作障害や価格低迷で農家経営は大変厳しい。どの様な支援を考えているか。

**答** 阿万育苗センター・キャトルセンターの建設。レタスビッグベイン病対策として薬剤灌注器付マルチヤーの導入事業と太陽熱消毒への交付金。フェロモントラップ資材の補充とナトリウム灯の導入。酪農では生産力向上、乳質改善、新牛乳工場建設への支援に取り組む。



暁クラブ  
登里 伸一 議員

## 一・市長の基本的認識を問う 二・財政指標と行政経営について

**問** 市長は施政方針の中で、合併により誕生した南あわじ市は、歴史的な転換期を迎えている、と言っているが、市長に夢を託した市民には、合併二年余りの今も、どんな市にしようとしているのか、いまだにビジョンが見えない。どのような認識なのか。

**答** また、過去からの仕組みや、市民と行政の役割を根本的に見直すとは、何をどうするということなのかお尋ねします。

**問** 初めて経験する厳しい財政状況。事務事業の増大、事業展開の独自性、自主性、そして自立を求められる地方自治。経験したことのない少子高齢化時代。何十年後にどれだけの方が住まわれているのかと考えますと、歴史的な大きな転換期であると考えます。

**答** また、住民も職員もこれまでのやり方で良いと思っている人が大勢いる。私はそうではない。いま新たにゼロの地点に立って、全然違う方向を見出すシステムをつくらないと、有名大企業が突然倒産するように、自治体も例外ではない。小手先の変更ではなく、ゼロからの出発でないと変わらないと

いうことであります。

**問** 十九年度は地方債残高の増加で、約八百三十七億円、住民一人当たり百六十万円の借金となる。

**答** 我々はしっかりとチェック機能を果たす責任があるが、体力にあつた行政経営かどうかの判断は、財政指標による他に主な手段がない。

**問** 実施公債費比率は、高い程財政の悪化を示す。十八年度、一八・

一％で、一八％以上は黄信号である。十九年度はいくらの見込みか。経常収支比率は、七〇から八〇％が標準であるが、十八年度、九一・一％で全く硬化化している。十九年度は。また、二十年度以降の事業費の財源はどうしていくのか。

**答** 財政力指数は十八年度〇・五〇。十九年度は。好転の要因は。

**問** 起債制限比率は十八年度、一五・五％で、徐々に上昇黄信号に近づいている。十九年度には。総じて悪化傾向にあるが、対応策を聞く。

**答** 十九年度実質公債費比率一八・六％、経常収支比率九二％、財政力指数〇・五一三、起債制限比率一五・七％の見込みです。

**問** 二十年度以降の財源見通しは、行政評価、指定管理等で予算の削減もできており、より深く切り込んで確保したい。財力力の要因は税源移譲である。

**答** 十九年度末に財政健全化計画を立て、二十三年度基金取り崩しなしで、予算が組めるように改革したい。



東方クラブ  
蓮池 洋美 議員

**問** 現在、市に裏金、隠れた借金はないか。

**答** ありません。

**問** 市長就任二年が過ぎたが当初の思いと、今の心境は。

**答** 頭でわかっていても量の多さ、

**問** 問題点の解決より前向きな取り組みのための非常に重たい一年であった。二年目は私にとって本格的な始動の年として「会う、見る、聞く」ことよって市民の思いを自身に改めて認識し、その一つ一つを選択と集中という言葉で表現し、時には借金をしても事業を行ってきたが、本年は素晴らしいふるさと資源を活かしながら一つには少子化、高齢者福祉の問題、二つ目に防災、環境、三つ目に産業経済、四つ目に行財政改革を熟慮断行の思いで取り組んでいきたい。

**問** 福良地区の再開発について。

**答** 鳴門海峡の観光資源を持って

**問** いるわけで魚の棚構想や人形座等と連携しながら総合的に考えて地元と協議の中で早い機会に方向性を示したい。

**問** 三原川水系の総合計画の措置と、倭文川の護岸整備の早期完成を。

**答** 三原川水系整備検討委員会懇談会が四回行われた後、十九年度

末に完成させて、実施していくと聞いている。市も県に対して強く要望している。

**問** 慶野松原の浸食対策について。

**答** 農林省海岸と建設省海岸に分かれておりますので、今後、この庁省の管轄の変更の動きに地元の協力をいただきながら努めていきたい。

**問** 企業誘致について。

**答** 企業団地については、積極的に取り組んでいるところですし、企業の初期投資の軽減を図るために、賃貸の特約付きとか、長期の分割払い制度も検討している。又、斡旋業者に奨励制度も入れた中でお願いしているところです。

**問** 東南海・南海地震の防災対策について。

**答** 防災士の育成に努めながら、自主防災組織再組織の役員さんに研修会等して防災意識を高めていきたい。

**問** 寝たきりゼロ、医療費軽減に向けた健康づくりについて。

**答** 生活習慣病予防に向けた検診の受診率が二〇数％の状況で今後健康に対する意識づくりを高めていく意味でも積極的に進めていきたい。

**問** 行財政改革について。

**答** 市民ニーズは多種多様、仕事は決して減っていないのが現状ですが、財政上、十五年後人件費を抑制する為に定数五〇〇名にしている。



南あわじ市  
日本共産党議員団  
吉田 良子 議員

## 格差是正の新年度予算を

共産党議員団は、市民の声を市政に生かそうと市民アンケートを行ないました。アンケートでは、二、三年前と比べて「悪くなった」が六二％で、「野菜価格がやすくて税金を納めるどころではない」「医療費の負担が増え生活が厳しくなった」「母子医療費助成を充実して欲しい」「市営住宅になかなか入居できない」など切実な声が寄せられています。市民の暮らしを応援する新年度予算にすべきです。

**保育料は所得にみあったものに**

**問** 保育料は、保護者が納める税額で決まります。六月は定率減税の廃止などで市民は増税になり同じ所得でも税額が上がることから見直し、さらに税額で七段階ですら細分化すれば所得にみあうのではないかと。

**答** 保育料、細分化については従来どおりでいく。

**児童保育と放課後子ども教室の取り組みは**

**問** 新たに放課後子ども教室を五か所実施するとなっていていますが、実施地域、開所日、利用料はどうか。

**答** 児童一〜六年生まで地域のボランティアで平日おこなう、おやつ代などの参加費負担を考えている。

**問** 児童保育と放課後子ども教室では住んでいる地域間でサービスに違いがあるのではないかと。

**答** 国の縦割りの中では仕方がない将来にむけて検討。

**障害者支援の充実を**

**問** 障害者自立支援法で原則1割負担になり、施設にも運営費の支払い方式が変わるなど負担が強いとされています。市として支援策は現在考えていない。市が財政的に早く回復することによって支援策が取れる。

**入札制度の制度の改善は**

**問** 自治体の談合防止策を検討していた国などは、一般競争入札の導入を求めているがどうか。

**答** 一般競争入札を基本に十九年度中で、地域限定型なども踏まえて検討する。

**企業誘致、若者の働く場所の確保を**

**問** アンケートでは、若者の働く場所の確保をして欲しい。学校を卒業しても働く場所がないなど切実な声が寄せられている企業誘致と、派遣など非正規雇用の実態調査は。

**答** 地場産業、商工業の発展振興を図っていく、優良企業の誘致は努力したい、実態調査をしたい。



公明党  
沖 弘行 議員

## 財政健全化の取り組みは

**問** 繰り上げ償還や借換債等の制度を活用し、財政健全化を図るべきである。

**答** 財務指標、実質公債比率あるいは資本比率等の状況により、南あわじ市が該当か否かわからない。該当すれば対応する。

## 災害への対応はどうか

**問** 福良地区の耐震化や避難路を要望する。

**答** 東一丁目から西十軒家の耐震化率は三五％です。避難路についてはなんとか確保したい。

**問** 公立施設は児童生徒の生命を守り、地域住民の緊急避難場所である。耐震化を要望してきたが、どこまで進んでいるか。

**答** 小中学校の率は八八・一％。幼稚園は五〇％であり、小中学校の施設が終わった後、順次取り組みたい。

## 漁業の振興への考えは

**問** 漁業従事者数と漁獲高を最盛期と現在を比較するとどうか。

**答** 人数は最盛期の昭和五十九年と平成十七年では、二千四百十三人と千六百九十人で七〇％。漁獲高は最盛期の平成二年が五十七億四千万円、十七年が三十億二千万円で五三％である。

**問** 漁協合併の見通しと、そのメリットは。

**答** 平成二十年一月合併に向け調整中です。市場統合によるスケールメリット、ブランド化への取り組み、魚価アップが期待される。

**問** 漁業資源の枯渇を避け、各種研究所との連携で漁業振興を要望する。

**答** 柴浸け産卵場の造成事業に助成し、県の試験場等と提携し振興に努めたい。

**問** 大漁であると、まち全体への波及効果が大きい。高い視野の取り組みを要望。

## 観光の振興について

**問** 豊富な観光資源をいろんな機会を通じて情報発信すべきである。その一つに、淡路島女子駅伝のテレビ放映を活用すべきである。

**答** 大会事務局にお願いしたい。



川上 命 議員

## 南あわじ市政治倫理 審査会に出された 再調査請求について

**答** 再調査については認められないと思います。一度調査を依頼したほかに新たな事実判明したら、調査の対象になると思います。

**問** 自己申告で判断され、二人の議員が懲罰を受けています。正直者が損をしないように審査会の今後の権威にかけても公正公平な審議をいただきたい。

**答** 審査会としても十分審議を尽くした結果が答申に表れたというふうなことのご理解を頂きたいと思えます。

## 風力発電について

**問** 五月末に十五基稼動すると聞いておりますが、市としてこの問題をどうとらえているのか。(環境災害)

**答** 環境監視調査結果を適宜公表せよというような条件がついております。隣地開発許可の中に、災害の防止、発生などの場合、市、県と協議をする。

**問** 過疎化が進んでいる四地区が今後税収で活気が出てきます。地域に還元ということで、市長どう思いますか。

**答** 固定資産税の関連は、別の次元と思います。私自身も避難路の話、直接住民から聞いておりますので、今後、出来るだけ早い時期に可能な方法で検討してみたいと思います。

## 丸山小学校の跡地問題について

**答** 旧西淡町の約束に基づいて協議をさせていただいております。公民館、診療所、防災備蓄庫、幼稚園そつう形の中で再度地域の中で議論していただきたいと思います。



原口 育大 議員

## 中田市政の前半を 振り返って

**問** 合併により、地域間格差や住民サービスはどうなったか。

**答** 旧町間の情報格差を解消するため、合併特例債でCATVを整備し、十九年度に完成する。

子育て支援では、保育料の第二子無料化で非常に喜ばれている。

学童保育は旧町単位ですべて揃ったが、更に今後充実強化させる。

ごみ袋の販売価格は緑でアップしたが、その他の地区は安くなった。

水道料金は、二ヶ月検針を一ヶ月に変更したことで使用水量及び料金の中身が解りやすくなり、漏水の早期発見にも効果があった。新たに福祉料金を適用した。

市章は出来た。市の花・木・鳥・歌も早い内に出来たらと考えている。

**問** コミュニティバスでは、デマンド方式がドアからドアへ送迎でき、ルートに縛られずに、市内全域を公平にカバーできる点で優れている。また、デマンド方式であれば、例えば数人の乗客でも必要なときだけ走らせることになるので、環境に優しいと思うがどうか。

**答** 乗客のニーズを拾い、協議会でより良い方向を見つけていきたい。

**問** これからは住民がどこに住むかを選択する時代である。つまり自治体を選ばれる側であり、住みよい町・住みたい町になるように頑張っていたきたい。

**答** 廊下型の住宅にエレベーター設置の予定はあるか。

**答** 設置の予定はございません。

**問** 四階以上の手すりが無い市営住宅九棟に、いつまでに手すり設置するのか。

**答** 十九年度予算で設置します。



武田 昌起 議員

## 市営住宅の改善について

**問** 廊下型の住宅にエレベーター設置の予定はあるか。

**答** 設置の予定はございません。

**問** 四階以上の手すりが無い市営住宅九棟に、いつまでに手すり設置するのか。

**答** 十九年度予算で設置します。

## らんらんバスを多く 利用していただくために

**問** 高齢者に対する買い物配送システムを商工会及び大型店舗に創設し、市の助成を望むが可能か？

**答** 店舗及び商店街で配慮すべきと思っており、口利きはしても良い。

**問** らんらんバスのルート検討し、福良、広田中条中筋、倭文、野原新庄方面へ新ルート創る予定有るか。

**答** 今年二月にアンケート実施し、ルートも検討委員会でも問題点出し合い、平成二十年四月までに答を出します。

**問** 老年七十五歳以上に福祉タクシー券発行出来ないか。

**答** 福祉タクシー利用範囲の拡大は考えていません。

**問** 福祉タクシー利用範囲の拡大は考えていませんか。

**答** 福祉タクシー利用範囲の拡大は考えていません。

## 「継続は力なり」

**問** 市長の「保育行政」に対する理念は？  
**答** 今まで国主導で地域性が発揮できなかったことと自体がお役所感覚。今後は幼保一元化、認定子ども園、公の施設の利用等の地域性のある施策を新設の少子対策課において早急に可能な検討を進める。

**問** 「保育料第二子以降無料施策」他、少子対策施策の評価には十年・二十年を要し、継続することではじめて効果が表れる。  
**答** 一市民として南あわじに住みたい、住み続けたい、住居を構えたい、そういう考えは誰にも負けないと考えている。効果は表れるものと確信を持っている。財源の問題等含め施策を続ける努力をしていく。

**問** 「女性だけの少子対策研究会」などを作り、女性の心の声を広く深く聞くべき。  
**答** 「女性の生の声」は必要と思っている。

## 膨大な市民からの要望への対応

**問** 不採択となった団体等からの「要望書」に対しては「財源がない」の一言で済まらず、一件一件文書で答えるべきではないか？  
**答** すべての要望に対して十分な対応ができていないのが実情だが、今後は「緊急性・優先順位・選択と集中」など勘案し、直にお会いして説明責任を果たし、市民の「納得度」を高めていきたい。



出田 裕重 議員

## 行財政改革について

**問** 職員意識改革をどの様に行っていくか。

**答** リーダーである市長をはじめ職員が一丸となつてこの南あわじ市をよくしたいという意識を態度や言葉で受け止め、行動していくべきである。

**問** 各種団体との話し合いをもつとすべきではないか。  
**答** 大いに話し合い、そして知恵の出し合い、これは私をはじめ担当部局も積極的にそういう考えをもっております。

**問** 入札について、一般競争入札、プロポーザル等の考え方について。また、監査室の設置は。  
**答** 地元で出来るものは地元業者でということ念頭に置いて検討していきたい。又ランク分け、設計と監理の分離発注等についても今後十分に検討していきたい。別の監査室の設置についてはいまのところ考えていない。

## 広域行政について

**問** 身体障害者の入所施設の増設について淡路広域の行政の中で検討できないか。

**答** 要望、現況等をふまえた中で、現在策定中の障害者計画が進められた後での話になると思っている。

**問** ゴミの焼却施設が古くなってきているが、広域の中で検討していく考えはないか。  
**答** ちょっと時間をかけてやらないと早急にはいかないと思っている。

**問** 広域行政事務組合議会の議員構成が三市の市長を含めたものとなっているが、本来の議会選出の議員によって構成すべきと思つた。  
**答** いずれはそのようにすべきと思つたが、当分は今の形がいいのかなと思つている。



小島 一 議員

## 新たな観光づくりを目指して

**問** 観光の目的は、見て・食べて・楽しむ、この三点の中で満足度が足りないのでは。  
**答** 豊富な魚、海産物、野菜等を期待して来られるが、そういった形になってない。

**問** 河津さくらには濃いピンク色で一ヶ月も咲いている。サンライズ、イングランド集客施設に大量植栽を。  
**答** 参考にさせていただきます。

## 人員削減

**問** 市が一〇〇%出資の株式会社で市から業務委託と市へ人材派遣し、人材削減方法を。  
**答** 民間の方々に人材を集めて頂き、行政事務の一部を委託する考え方が今後入ってくる。

**問** 専門職を雇用して住民福祉や健康管理等を行い、医療費の削減を。  
**答** その方向で進んでいく。

## 広域消防お金だけ三市体制で人材等は不平等

**問** 人員、洲本六十人・淡路五十一人・南あわじ三十六人、救急車、洲本四台・淡路三台・南あわじ二台、消防自動車、洲本五台・淡路五台・南あわじ三台、早く不平等改善を。  
**答** 負担割合に見合うよう努力したい。

**問** 広域消防として沼島に対し進展があつたか。  
**答** 機器配備など考えている。

## 地上も海中も同じだ

**問** 地球温暖化で海の中でも生態系の破壊。藻場の再生事業は。  
**答** 海藻等の生息に対し具体的に調査をする。



長船 吉博 議員



印部 久信 議員

## 十九年度 予算について

**問** 十九年度予算厳しい財政状況といわれておりますが、原因は今までの予算編成に無理があったのか、四町合併時の負の部分新市に持ち込んだのか、市長はどの様に思うか。

**答** 言われた要件もあり、地方交付税が変わってきた。又長い景気低迷等も大きく響いている。

**問** 地方債が十九年度末に八百三十六億円になる予測があるが地方債が膨らんだ要因と地方債のピークについて。

**答** 合併直前からの下水道整備がかなりのウエイトを占めており、又ピークは二十二年度あたりかなと思います。

**問** 普通交付税六十九億の内地方債償還に係る交付税算入額は。

**答** 十九年度では二十七億。

**問** 収支の健全化とは何をもって健全化したというのか。

**答** 十八年度約十二億円、十九年度八億七千万円基金を取り崩しており、単年度予算を基金を取り崩しせずに予算を組めた場合と解釈しております。

**問** 十八年度事務事業評価における十九年度当初予算への効果についてですが、二〇二二事業のうち一〇二事業を減額(二億七千万円)しておりますが、特に市と連携し行政を進めていく。自治会、婦人会の活動補助金を削減しております。市長らしくないと思いませんか。

**答** 市になった関係で旧町の支部等三段階になっており、旧町の段階の補助金を見直していることと

いうことです。

その他の質問

地域振興基金について  
酪農振興について



森上 祐治 議員

## 良好なサービス 提供を

**問** ごみ処理の問題について。総合提案方式は従来の競争入札

とどこが違うのか。

**答** 単に価格のみによる決定と違って、受託承認申請書、業務提案書、業務見積書の三点からそれぞれ評価し、総合点によって受託者を決定する。

**問** それによってサービスは向上するのか。

**答** より高品質で業務改善意欲の高い、市民満足度高い業者の選定が競争原理を伴って図られると考えている。

**問** 観光客の増加、高齢化社会の中で、公衆トイレの利用度が

高くなっていくが、管轄が色々分かれていて、位置づけが難しいが、花博以降、島内に二百十ヶ所の花トイレをつくりガイドマップを提供している。

**問** 洋式トイレの普及状況はどうか。

**答** 二百十ヶ所のうち市内には六十三ヶ所あり、そのうち市の管理が二十一。そのうちの七割、十四ヶ所が身障対応できる。

**問** 努力に感謝。様々な公衆トイレのバリエーションの進展をお願いする。

**淡路人形浄瑠璃の継承・発展に向けて** 問 協定書の意味を風化させないために、市長の今の思いは。

**答** 人形浄瑠璃の伝承のために全力を尽くす覚悟文化庁へも再三足を運んでいる。全市民が誇りと伝承への意識が高まるよう努力する。

**問** それをバックアップする行政組織を充実させていく観点から、伝統芸能課、地域文化振興課といった部署の創設はどうか。

**答** 今後、全庁的な感覚を醸成していく必要を感じている。

**問** 資料館と人形座の一体化は。

**答** ルーツの問題がある。いろんな人の意見も尊重して、時間をかけて検討する必要がある。



楠 和廣 議員

## 南あわじ市の 市創りについて

**問** 自然・文化・伝統・歴史を活かした市の町並み景観整備も含めたまちづくりについて、基本的な考えは。

**答** ふるさと資源、文化、観光名所等、形でないものも絶えず私たちや市民がそういう気持ちを持ち続けていくことが美しいまちづくりに結びついていくと考える。

**問** 失われつつある日本の田園風景、家屋、家屋文化の再生への行政として取り組み、制度化されている景観法との整合性をもって、景観並み景観整備創設ができないか。

**答** 都市計画区域に限って条例で規定・制約など設けることができるが、地域に居住してある方々のご理解も必要。できれば、瓦を使った建築物を市として奨励するような形にもっていったらという考えはある。

**問** 観光産業、自然美を誇る慶野松原の海岸線の侵食に対しての取り組みをお願いしているところ、隣接の五色浜の二の舞にならぬよう早期の環境整備、侵食の対応、取組みは。

**答** 農地海岸に農地に被害があつて、前提ということで整備計画とかいう組織をつくった中で話され、今の事業が成り立っていると聞いている。二年始まるまでにその辺の動きが大事じゃないかと思っている。松原の保全計画・整備計画というのが当然あつた。利用形態、最終的な景観を考えた利用整備が行われていくべき。



## 地域格差について (公民館)

**問** 小学校単位の地区公民館は、地区公民館活動交付金は八〇二万円、内三原五地区で五百八十三万円ですが、他地区での交付金は。

**答** 四月一日より二十二施設。緑は地区館が無。南淡は支所と相互、三原五館、西淡七館。十九年度に具体的に検討に入り、三年間かけて配分を検討している。

**問** 津井公民館文化祭を「瓦」をテーマに、展示、芸能発表が創意工夫を凝らし行われた。津井の住民は新しい公民館を切望している。

## 中学校の合同部活について



**問** 進学する中学校に入りたい部活がないため、他の中学校へ進学する子どもが増えている。別の学校の部活動に参加する合同部活動とか合同チームの考え方は。

**答** 部活動検討委員会を設置し、部活動のあり方合同部活動のあり方等々の検討に入っている。

**問** 部活動の問題は一定の解決策はないと思われるが、今後、生徒一人ひとりのニーズをとらえ、学校事情を踏まえ、保護者の意見を聞き対応してほしい。



福原 美千代 議員

## 酪農が続けられるようもつと支援を

**問** 三原の酪農経営の状況についてどのような認識でしょうか。

**答** 経費を差し引いて、家にお金を持って帰れるのが三割、つく引くゼロが三割、赤字が三割と認識しています。

**問** この状況の中で、工場建設が酪農家の大きな負担になり、生産者の大幅減少にならないか

**答** 心配もあるが、新工場建設に皆が努力してきた。可能な限りの支援をする。

**問** 酪農家が過剰な投資にならないよう、国、県にもさらに財政的な支援をもとめていただきたい。

**答** これ以上は無理と考える。無理だといえはそれで終わってしまう。あきらめず、酪農家の声をもっと聞いて国、県に強く働きかけていただきたい。

## イングランドの丘で牛乳サービスを

**問** 牛乳の消費拡大のためにイングランドの丘で以前のように配ってはどうか

**答** 県からも予算をもらっているので、毎日は無理かもしれないが年間通じて配れるよう考えたい。

## 鳥獣被害から農家をどう守るか

**問** 鳥獣被害の対策はどうなっているか。

**答** 市内で、約六千万円の被害があり、今年度六百万円で柵を設置することになっている。

**問** 柵の設置への希望がたくさん出ている。予算が足りないのではないかと。希望に応じて、対応します。



蛭子 智彦 議員

## 歴史探訪

### 津井春日神社

春日神社は本村唯一の氏神で龍棲山麓西本村にあり三方、山に囲まれ老樹繁茂して森厳極まりなく鳥居を過ぎて神域に入れば自づと襟を正さしめる。當神社は元津井村古宮ノ地に祭りて伊加利、阿那賀、津井三村の氏神なりしを中世に至り前期三村に分祀したものであると傳へられている。今の本殿は昭和二年今上天皇御大礼記念として建築せられた質素なる建物で周囲に石の玉垣をめぐらし莊嚴を極めてい。それ以前の建築は貞享二年、今より二百四十五年前であるといはれている。拜殿は明治四十二年に建築せられたものである。祭神は建神の建御 賀豆 智命、伊波比主命、天之子は根命、比賣神の四柱を鎮祭する。明治維新前藩主蜂須賀侯崇敬社である。

津井村誌 昭和七年津井小学校郷土史研究部より

春の大祭では「頭」が中心でこれを盛り上げるだんじりに加え、弓矢を使う神事「射の儀」が江戸中期より続いており、南あわじ市重要無形民俗文化財に指定され、伝統の儀式は粛々と続いている。





## 市議会を傍聴して

折口 一美(阿万)

三月八日、南あわじ市議会傍聴を、婦人会の方々とさせていただきました。初めての経験で、期待と不安が入り混じって妙にドキドキしながら、三階の議場前につきました。

やっぱり目に飛び込んできたのは、男性の軍団。受付の若い女性になぜかほっとした。住所、氏名、年齢を記入し、傍聴規則(抜粋)を渡され目をとおす。

そうこうしていると、「カラン、カラン」と昔の学校の始まりを告げるような鐘の音。この鐘の音を合図に、議員の方や職員の方がそれぞれ



## 議会傍聴に 参加させていただいて

奥井 光子(賀集)

春まだ浅い三月八日南淡支部連合婦人会の会長さん達と一般質問の傍聴に参加させて頂きました。日頃は、婦人会活動にご協力ご支援を頂き紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。

南あわじ市になって早、二年余り十八年度のトップニュースとして昨年十月一日～十月四日まで五十年ぶりの「のじぎく国体」を当地で相撲・ビーチバレーと盛会裡に終わることが出来ました。三月十七日には第六十一回国民体育大会開催記念碑の除幕式が行われ、国技である相撲競技が市長様始め実行委員の方々、たくさんボランティアに支えられ成功できましたことに深く感銘致しました。私共婦人会役員の皆さんも四日

の席についていく。ハイテクの時代に「カラン、カラン」なんてなんだか可笑しいと思う反面、重みもあるな〜っと思った。

この日、質疑席に立たれた議員の方は、議員の資質に関して、観光の目玉となるものはなにか、魚礁づくりは、オニオンタワーは、等々、一人、五十分の持ち時間を、ぎりぎり一杯使いながらも時間内にきちんと質疑を終了させるのには驚いた。傍聴席は議場の最後列にあるため、質問に答えられる職員の方の顔や表情はよくみえたのですが、議員の方々からは後ろ姿しか見えず、どんな表情をしておられるのかと想像を巡らせた。傍聴席が横にあれば両方の様子が見えるのではないっつ聞き入った。

私たちの生活に密着した質疑であり、議員の方も職員の方も真剣に肅々とやりとりされており、議会の生活への係わりの大きさを感じた。

議会の内容はケーブルテレビやインターネットでも見られるようですが、質疑の場にいることで議会をより身近に感じた一時でした。

間接待班としてお世話させて頂きました事は、一生の良い思い出としていつまでも残る事でしょう。その後日日本相撲連盟松村会長さんより婦人会の皆さんにお礼状を頂くなど身に余る光栄でございました。

昨年十一月に第二代会議会議長が決まり副議長には女性議員私達の婦人代表として手腕を発揮して頂けることを切望しております。市民から選ばれた二十八名の議員さん方の熱のこもった議場で感じましたことは音響の悪さ質問者の声が聞き取れにくく執行部側のテキパキとした返答も聞こえにくかったことが残念でした。旧南淡旧緑にはケーブルテレビが整備中でせつかつくの議会のやりとりも後日発行の議会だよりで知るところであります。合併以来南あわじ市総合計画「基本構想」が議決されたよう伺っております。「食」がはぐくむふれあい共生の南あわじ市人口減少や少子高齢化の拡大、安全安心に対する備え、地場産業の低迷観光開発の進展、農業後継者の問題等課題が山積み致しておりますが、市民に選ばれた代表機関として、市民共々しっかりと手をつなぎ、美しい街づくりに進んでいきたいと念願しております。



## テレビを見ていて思うこと

榎本 操 (八木)

最近は何の痛むことばかり、親が子を殺し、子が親を殺す。小さな子供が犠牲になり、未来に希望が持てない若者たち。

政治といえば税金の無駄づかいに天下り、裏金作り。南あわじ市はどうなんだろうか？興味あり。役所には多くの人がいるのに、一人も止める者がいないのだろうか。そんな勇気を持ち合わせていないから、血税を裏金にするのだろうか、悪は悪だ、皆で渡れば恐くない赤信号か！  
教育者は人の教育以前に自己の教育を！医師は人の命を助ける使命、



## 身近なことから

武田みどり (湊)

現在、地球温暖化が問題になっている。外国のツバルという島国は海面上昇の為、この先なくなってしまうだろうと言われており、ニュージーランドに移住する人が増えている。しかし、条件付きの移住で、移住しなくてもできない人々がたくさんいる。

そこで私は自分にできる事はないかと考える。

私は、昨年七月に静岡のつま恋で三日間開催されたap bank fes'06に参加した。fesでは、「ゴミを減らす」三つのR「を実践していた。

三つのRとは、リデュース・リユース・リサイクルの三つである。リデュースとは、マイ箸・マイスプーン・マイフォークを持参してゴミを

警察は人の安全を守る使命、哲学のない時代とよく言われ、耳にするが人にはそれぞれの立場があり、果たさなければならぬ使命もある。その根っこに民衆を据えなければ本末転倒だ。すべて公的なものは、民衆が幸福な社会生活を送る為に有ると思う。

我々も又、権利だけを振りかざすのではなく、かわいい子供や孫の為に、より良い社会を作っていく努力を惜しまずに、やって行きたいものだ。

愚かな自分ではなく、賢い自分に変革することが良い社会を作る。庶民の常識も人情も、まだまだ捨てたものではない。良き庶民の方が多い。皆で心を合わせる事ができれば、政治も社会をも変えることは出来る。と信じる者です。

減らすこと。リユースとは、繰り返し使えるカップ等を利用して何度も使うこと。リサイクルとは、ゴミを細分別化し、それぞれ違う形で再生して使うことである。

このfesを通して、私を含めfesに参加した人たちは、改めて日常生活から出るゴミについて考えることができたと思う。南あわじ市のゴミの分別は十種類以上に分かれており、市民の方々はゴミの分別をされているでしょう。また、最近、買い物の際にエコバックを持参し、レジ袋の削減に協力されている人が少しずつではあるが増えてきたように感じる。エコバックを利用することによって、レジ袋の原料となる原油等の削減にもつながる。このエコバック利用は、市民にとってはいちばん身近で、取り組みやすい事の一つではないでしょうか。

このような一人一人の心掛けが、地球温暖化をはじめ、さまざまな自然破壊の歯止めとなり、これから生きていかなければならない子どもたちのためにも考えていくべき問題の一つではないでしょうか。



## 障害者に 太陽の光と 暖かさを

細川 秀夫（複列）

人は、誰しもが幸せな暮らしを望んでいるが、ままならぬのが、この世の常。

病気や障害のある人が人口の何%かあり、その中に入るのが、人生の悪いくじを引いた人達で、その人達が二十年程前保健所のお世話で、「精神障害者の会みはら家族会」が出来ました。家族が寄り添って語り合い、「人に知られたくない」、「人に話したくない」、誰も知らないのか、知っていても知らん顔しているのか、障害者の中でもこの病気ほど悲しいのはない。

普通の病気なら入院しても全快退院し、皆さんに喜んで頂けるが、この病気になるると終生まで何か残るものがある。昔はこの病気になるとお終い、今は、国も力を入れる様になり、病気や障害を持ちながら地域で暮らせる様になってきました。

昨年障害者自立支援法が出来、国から地方に任せる様になり、今まで以上に地方行政のお力添えをお願い

します。

障害者も作業所で、一生懸命がんばっておりますが、作業の種類が限られていきますので、作業の紹介していただきたい障害者就労支援も出来ましたので、雇用促進を図っていただきたい。

作業所周辺の皆様方のご理解、ご協力いただき、ありがとうございます。ボランティアスタッフ指導員さん等大勢の皆様方のご支援ご協力いただいておりますので、議会の先生方も限りなく課題があると思いますが、福祉の方も見ていただき、各障害者に太陽の光と暖かさをそそいで下さい。



いちばん星スタッフと送迎車両

## インターネット検索サイトから

南あわじ市議会

検索

本会議・委員会のインターネット中継を行なっています。

クリック

<http://www.city.minamiawaji.hyogo.jp>

## 議会事務局職員の紹介

局長	淵本 幸男（総務部次長）
次長	山口 恒利（議会事務局課長）
課長	松下 良卓（主幹）
課長補佐	細川 美奈
庶務係長	船本 有美
主事	濟藤 貴志

以上の六名で議会事務局にあたります。

※（ ）は旧職名

## 編集後記

印刷経費削減のため、表裏のみカラーでその他は二色刷りに致します。少し見にくくなりますが、ご理解を賜りたいと存じます。議会も今回より会派代表質問を実施、予算委員会も一般会計予算で熱心な討議及び精査を行いました。すべての意見を載せることが出来ませんが、ご理解をお願いいたします。

（武田）